



2025年12月22日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ラ ン デ イ ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 亀 井 浩
(コード番号: 3261 東証グロース、福証 Q-Board)
問 合 せ 先 管理部マネージャー 伊 藤 慶 樹
(TEL. 097-548-6700)

2025年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年2月10日に公表した2025年12月期の連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	1株当たり当期純利益又は純損失
前回発表予想(A)	百万円 4,800	百万円 250	百万円 240	百万円 180	円 銭 43.90
今回修正予想(B)	3,400	10	15	△30	△7.32
増減額(B-A)	△1,400	△240	△225	△210	△51.22
増減率(%)	△29.2	△96.0	△93.8	-	-
(ご参考)前期実績(2024年12月期)	4,226	482	466	251	69.45

2. 業績予想の修正の理由について

① 売上高について

(百万円)

	予算	実績見込	達成率	理由
建 売 住 宅 販 売	1,500	1,220	81.3%	物価高の影響等による住宅購入意欲の低下により、販売が想定通り進捗しなかったことにより未達成となりました。
投資用不動産販売	1,300	820	63.1%	投資用不動産 2 棟（大分市、京都市に保有する賃貸マンション、総額約 10 億円）の契約が不調に終わり未達成となりました。
建 築 請 負	1,800	1,230	68.3%	建築基準法の改正により確認許可の交付が長期化し、受注案件の着工が滞ったことにより未達成となりました。
そ の 他	200	130	65.0%	—
合 計	4,800	3,400	70.8%	—

第 3 四半期決算短信開示時点においては、投資用不動産 2 棟（大分市、京都市に保有する賃貸マンション、総額約 10 億円）の販売により、建築請負事業の未達を補填する計画としておりましたが、投資用不動産の販売が不調に終わり、売上高が当初予想を下回る見通しとなりました。

② 営業利益及び経常利益について

上記「①売上高について」に加え、株主優待費用が当初想定約 27,000 千円に対し 90,000 千円超となり、当初予想を大幅に上回り、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益、経常利益は当初予想を大幅に下回る見通しとなりました。

③ 親会社株主に帰属する当期純損失について

株主優待費用が法人税法上の損金不算入となるため、親会社株主に帰属する当期純利益は減少し、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

なお、通期業績予想及び配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。公表すべき事項が新たに生じた場合は、速やかに開示いたします。

また、配当につきましては予想の修正は行わないこととし、期末 15 円 00 銭を予定しております。

3. 役員報酬の返上について

本業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の一部を自主返上することといたしました。

(1) 自主返上の内容

代表取締役：月額報酬の 100%

(2) 対象期間

2025 年 12 月

以 上